

News Release

2008年5月23日

ソレイジア・ファーマ株式会社

〒108-6028

東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟 28F

Tel 03 6717 4449

Fax 03 6717 4545

solasia.co.jp

Solasia

ジャパンブリッジ(現ソレイジア・ファーマ株式会社)、プロストラカンより、 日本、中国、東南アジア諸国における Sancuso®の独占的開発販売契約締結

東京/日本, ガラシールズ/スコットランド 2008年5月23日 - ジャパンブリッジ株式会社(現ソレイジア・ファーマ株式会社)は、プロストラカングループ plc (LSE: PSK)より、Sancuso®(グラニセトロン経皮吸収型製剤)の日本、中国、その他東南アジア数カ国における独占的ライセンス契約を締結したと発表した。Sancuso® はプロストラカンの新製品であり、抗悪性腫瘍剤の投与に伴う悪心・嘔吐を予防するための経皮パッチ剤である。

本契約により、ジャパンブリッジはプロストラカンに対し、2,600万米ドル以上を契約一時金ならびに承認・売上目標の達成時のマイルストーンとして支払うことに合意した。プロストラカンは日本、中国、台湾、シンガポール、マレーシアにおいてSancuso®をジャパンブリッジに独占供給し、これらの国での売上に対してロイヤルティ(率は未公表)を受け取る。

抗悪性腫瘍剤の投与を受けた多くの患者が、投与の直後または5日後までに悪心・嘔吐を経験している。グラニセトロンは、この副作用を抑えることが立証されている5-HT₃受容体拮抗薬である。Sancuso®は、グラニセトロンの血中濃度を5日間にわたって安定的に維持し、注射や経口薬を使用する必要がない。

プロストラカンは2007年6月、Sancuso®について米国食品医薬品局(FDA)に新薬申請(NDA)を提出した。米国での認可プロセスは完了し、Sancuso®の米国での発売は2008年第2半期に予定されている。Sancuso®の欧州医薬品販売承認申請(MAA)は2007年7月に提出され、プロストラカンは2008年第2半期に欧州の認可が下り、2009年には欧州での発売が開始できるものと期待している。2007年8月、プロストラカンは韓国においてLGライフサイエンス社とSancuso®の独占的ライセンス契約を締結している。

プロストラカンのSancuso®の契約は、ジャパンブリッジにとって最初の欧米医薬品企業から獲得した独占的ライセンスである。ジャパンブリッジは、MPMキャピタルと伊藤忠商事の共同出資により、日本・中

国およびアジア諸国においてがん分野におけるアンメットニーズに応えるために設立された。

本日の発表に関するプロストラカンの最高経営責任者ウィルソン・トッテン博士の談話。

「弊社は、欧米における事業構築に加えて、弊社にとって主軸でない市場において製品ポートフォリオをアウトライセンスすることによって、新たな収益源を拡大しつつあります。ジャパンブリッジとの提携はこの例のひとつであり、Sancuso®という承認待ち段階にある製品の価値を生かしたものです。「ジャパンブリッジは、経皮吸収型製剤の主要市場である日本、中国およびその他のアジア諸国においてSancuso®を商品化するための能力と知識を備えた力強いパートナーであり、悪心・嘔吐を患う化学療法患者さんのための重要な治療法として、この製品を確立する上で、大いに弊社の助けとなってくれることでしょう。」

ジャパンブリッジ、スティーブ・エンゲン代表取締役社長の談話。

「この契約は、日本、中国およびその他のアジア諸国において、がん患者さんのニーズに応えるという弊社の戦略に合致するものであります。経口および注射剤のグラニセトロンが現在制吐剤市場の50%以上を占める日本において、作用持続性のあるSancuso®は、患者さんのニーズに応える絶好の製品です。「特に、日本市場は経皮パッチ製品に関しては世界最大の市場のひとつです。プロストラカンと協力し、積極的な薬事戦略を採用することによって、日本、中国、その他アジア諸国においてSancuso®の開発と商業化を迅速化することを期待しています。」

以上

詳細に関するお問合せ先

プロストラカン +44 (0)1896 664000

ウィルソン・トッテン博士 最高経営責任者

ポール・ガーベイ 最高財務責任者

カルム・スプレング 広報部

フィナンシャル・ダイナミクス(プロストラカン代理) +44 (0)20 7831 3113

デビッド・イエイツ/ベン・ブレワートン

ジャパンブリッジについて(現ソレイジア・ファーマ株式会社)

ジャパンブリッジ株式会社(現ソレイジア・ファーマ株式会社)は、アジアにおけるがん領域のアンメットニーズに応えるため、MPM キャピタルと伊藤忠商事の共同出資により、2006年11月に設立された。

そのミッションは、日本、中国ならびに他のアジア諸国において、アグレッシブな臨床開発と独自の販売戦略により、がん領域の医薬品を迅速に患者さんに提供することである。

プロストラカンについて

プロストラカングループは急成長中のスペシャリティーファーマであり、主要市場において満たされていない治療法のニーズに応える処方薬の開発と商品化に従事している。

プロストラカンの本社は、スコットランドのガラシールズに位置している。プロストラカンの製品ポートフォリオの欧州全域にわたる販売とマーケティングは、イギリス、米国、フランス、ドイツ、スペイン、その他 EU 各国の販売子会社が行っている。

プロストラカンに関する詳細は、www.prostrakan.com

Sancuso®について

悪心・嘔吐は、抗悪性腫瘍剤の投与を受けている多くの患者を苦しめている重大な問題であり、投与直後または5日後までに表れる。Sancuso®は、作用持続性の経皮吸収型製剤であり、制吐作用のあるグラニセトロン[®]の血中濃度を5日間にわたって安定的に維持する。経皮吸収型製剤は、悪心や口内炎により経口薬を飲み込むことができない患者にとって特に有益である。グラニセトロンは5-HT₃受容体拮抗薬であり、抗悪性腫瘍剤の投与に伴う悪心・嘔吐に対する有効性が立証されている。

MPM キャピタルについて

MPM キャピタル L.P. は、ボストンとサンフランシスコに事務所を持つ、ライフサイエンス企業への投資に特化したベンチャーキャピタルグループであり、世界最大のバイオベンチャーキャピタルのひとつである。MPM のポートフォリオは、新興企業から株式公開企業まで多岐にわたり、その主軸は製品の商業化間近のバイオ医薬品および医療機器企業、または医薬品産業へのサービス提供型の企業である。同社はベンチャーキャピタルファンドの MPM バイオベンチャーズならびにパブリックマーケットファンドである MPM バイオエクイティーズを通じて、24億ドル超の資産を運営している。

MPM に関する詳細は www.mpmcapital.com

伊藤忠商事について

1858年に創業された伊藤忠商事株式会社は、初代伊藤忠兵衛が繊維の行商で創業したことに遡る。以来約一世紀半にわたって、伊藤忠は、繊維、機械、情報・通信関連、金属、石油等エネルギー源関連、生活資材、化学品、食糧・食品等の各種商品の国内取引、輸出入および海外取引を扱う総合商社へと進化し、成長を続けてきた。さらには損害保険代理業、金融業、建築業、不動産の売買、倉庫業ならびにそれらに付帯または関連する業務及び事業への投資を多角的に行ってきた。伊藤忠は前中期経営計画「Frontier-2006」の下で、「安定的かつ持続的に連結純利益1,000億円以上を達成する高収益企業」という目標を達成した。伊藤忠は現在、新中期経営計画「Frontier+2008」の実施へと前進している。この計画の下で、伊藤忠は更に攻めの姿勢を強め、積極的な経営方針を採用し、世界の舞台における企業価値を高め、「全てのステークホルダーにとって魅力溢れる世界企業」となることを目指す。